

高温が予想されます。 育苗ハウス等の 温度管理に注意！

長岡農業普及指導センター
稲作緊急情報

電話：0258-38-2554

E-mail:ngt111440@pref.niigata.lg.jp

4月7日、新潟地方気象台発表の「2週間気温予報」では、4月9日から11日にかけて、高温（最高気温22℃以上）になる可能性があるとして予想しています。

浸種水温は10～15℃

- 温湯消毒の場合は浸種開始後から（種子消毒剤を使用した場合の浸種は5日目以降）、こまめに水を更新して水温を10～15℃に保ち、酸素不足にならないようにする。
- 戸外での浸種は水温が上昇しやすいので、特に注意する。

は種直後から、育苗ハウス内の温度管理でヤケ苗防止！

- 日射が強い日は、育苗ハウス内の温度上昇が著しくなるため、温度をこまめに確認し、早い時間から換気を開始する。
- は種直後の被覆中でも、高温にならないよう換気する。
- 緑化期の高温・過湿は、細菌性病害の発病を助長するため、昼間の温度は20～25℃をめやすに温度管理を行う。

温度のめやす 出芽期：30℃

緑化期：20～25℃（昼間）、15～18℃（夜間）